

SCM100sl/II

3-way PASSIVE STUDIO MONITOR SPEAKER SYSTEM

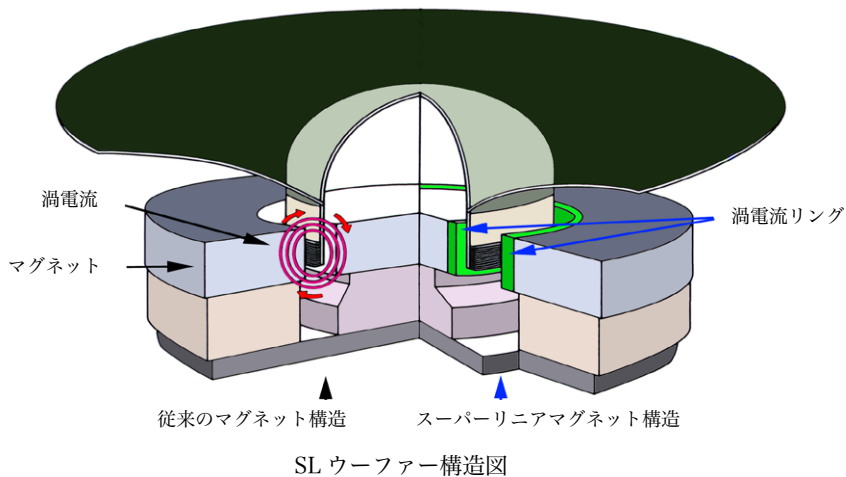


Walnut 仕上

ATC 以前 (!) は、スタジオモニタースピーカーの開発は一般のそれとは異なるニーズがあるとされてきました。たとえば、歪をまず第一に限りなく少なくし、最大許容入力をより大きく、音量の大小に関係なくリニアな再生能力などが何より優先され、音が美しいとか、音楽が楽しめることなどは場合によっては犠牲にされることすらありました。ATC ではそれではスピーカーの真の発展はないと考え、いわばそれらの両立を目指したのです。SCM100sl/II は、ツイータードライバーの変更による高域エンドの伸長、ミッドレンジドームドライバーの特性アップなど、SACD を始めとするスーパー CD メディアの本格化など新しい時代に対応、ウーファーはボイスコイルに発生する渦電流歪を大きく低減したスーパー・リニアマグネットシステムによるユニットを搭載。そのウーファーから聴かれるのは量感と極低歪の質感が見事に両立した音。まさにベースというがごとく音楽の土台というべき低音域がクッキリと描ききられて初めて見える音楽の構造。しっかりとしたベースの上に構築される耳で見る音の建築。土台と屋根の力学的構造が初めて有機的に解き明かされる再現能力。10 年来変わらないデザインの正に「スタンダード」と呼ぶべき完成された高密度キャビネット。SCM100sl/II、ATC モニタースピーカーラインナップのコアモデルです。

主な特長

1. 新型 25mm 径ソフトドームツイーターはシルバーボイスコイルとダブルマグネットシステムにより、超高域までのフラットな周波数特性と 3.8kHz という低いカットオフ周波数での低歪率とリニアリティを得ています。
2. ミッドレンジドライバーは大口径ソフトドーム振動系によるナチュラルな音感、スムーズな波形伝送に適したエクスポネンシャル型の硬質素材ホーン/ウェーブガイドにより、インパルスレスポンスを改善、素晴らしいアキュラシー、透明度、ダイナミクスを実現しています。380Hz から 3.5kHz の広帯域を誇り、音楽の中心周波数ともいえる 440Hz を含み、広い指向特性と中域のダイナミズムを両立。また振動素材は自然素材にこだわり、大口径 75mm ボイスコイルの補強リングにもバルサ材を使用しています。
3. また音楽のベースをつかさどるウーファーにはリニアリティに優れた 30cm 口径、特殊仕上げの自然素材ブラッシュドペーパーコーンを使用、その極めて自然な音質、また渦電流の発生を抑えたスーパーリニアマグネットシステムにより、従来にない低歪率、より大きな振幅とリニアリティに優れたレスポンスを実現、さらにパスレフポートのバッフル面をフレア型にし、フラットスムーズなローエンドを得ました。
4. キャビネットには高密度 MDF 材を使用、レコーディングスタジオでの無駄な響きを抑え、ハイパワーハンドリングにも十分に耐えうる強固な重量級のプロ仕様となっています。



SL ウーファー構造図



314mm φ SL ウーファー
75mm φ ミッドレンジ

製品仕様

- 形式：3ウェイ3スピーカー/バスレフ型
- 使用ユニット：
 - トウイーター・25mm φソフトドーム
 - ミッドレンジ・75mm φソフトドーム
 - ウーファー・314mm φパルプコーン
- 再生周波数帯域：-6dB・32Hz～20kHz±2dB・65Hz～12kHz
- クロスオーバー周波数：380Hz/3.5kHz
- 最大許容入力：300W 連続 (500W ピーク)
- 出力音圧レベル：88dB/W/m
- 最大音圧レベル：115dB/SPL/(1m/ 連続入力)
- インピーダンス：8 Ω
- 指向特性：水平±80度 / 垂直±10度
- 外形寸法：398W×832H×503D (mm) サランネット含む / ターミナル別
- 入力スピーカー端子：3way 結線ポスト
- 重量：70kg (1本)
- 仕上げ：ウォールナット (スチールスタンド付属)
- 価格：1,700,000円 (2本1組)



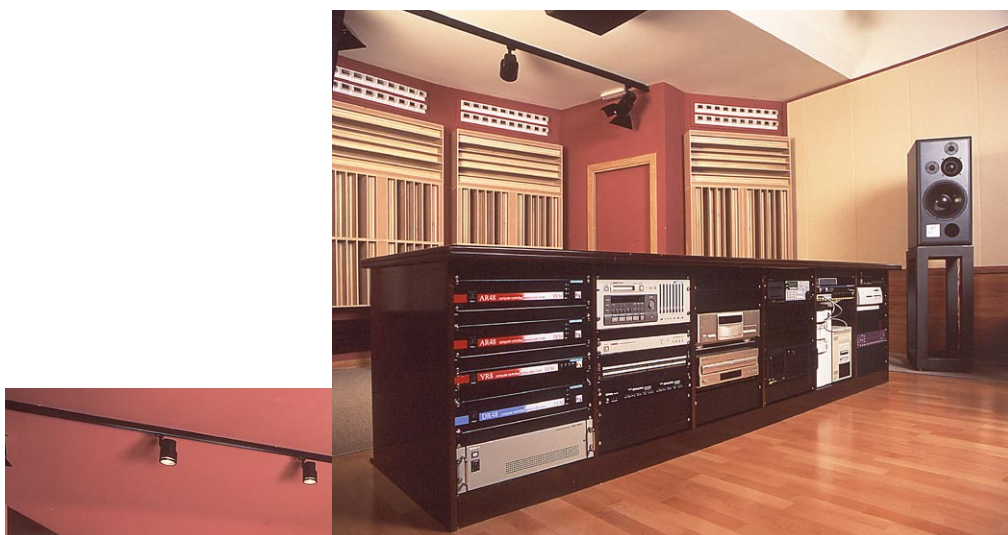
ミッドレンジボbinのバルサ材リング



25mm φトウイーター



ハイパフォーマンスネットワーク



3-Way バインディングポスト